

私たちの提案

これまでの私たちの調査によって、審議会が校舎売却計画の最大の抛り所としてきた GJS 単体の赤字は偽りであったことがわかりました。ですからこの状況でもし審議会が売却を強行したならば、それは前提が崩れた計画をゴリ押ししたことになるばかりか、審議会の他の部門の赤字を穴埋めするために人身御供のように子供たちの大切な学校を売りに出したこととなります。これは私たち保護者としては到底容認できることではありません。

しかし一方で、審議会全体が赤字であることはたしかですし、また私たちが定員 450 名の学校を 210 余名で贅沢に使っているというのも事実です。これらの問題は、たとえ今回売却を阻止できたとしても、何らかの方法で解決しなければなりません。

言うまでもなく、私たち PTA の最大の目的は、私たちの子供たちの生活環境を改善し、先生方や審議会と力をあわせて学校をよりよくしていくことにあります。その意味で、単に売却を阻止するだけでなく、その後の問題を考えていくことが重要になります。またこうした（その後の）問題を積極的に PTA が考え提案していくことは、今後の学校経営に関して協力しようという私たちの意志を審議会や学校に示すという意味で、売却計画そのものの阻止にも繋がると考えられます。

私たち PTA タスクフォースは、こうした考えに基づき、広く会員のみなさまからこれらの問題の解決方法を募り、それらをこの文書に順次取り入れてホームページで公開していくことにしました。具体的にはつぎの 2 点について考えたいと思います：

1. 児童生徒数を 300 人まで増やすには、どうすればよいか？
2. 児童生徒数増加以外の収入増加策はないだろうか？

これらについて、この HP の GuestBook、PTA タスクフォースへの email、あるいはお知り合いの PTA 常任委員の方を通じてご意見をお寄せいただくよう、よろしく願いいたします。

2005 年 7 月 15 日
ニューヨーク日本人学校
PTA タスクフォース委員会

児童生徒数増加策 (Updated 7/15)

1. 日本人幼稚園への一部教室の貸し出しによる新一年生の確保
2. 英語教育の充実
3. 地域への公開授業、説明会の開催

その他の収入増加策 (Updated 7/15)

1. 敷地の一部売却
2. 日本人幼稚園への貸し出し
3. 他の学校への貸し出し：一部敷地、一部時間帯（週末、夏休みなど）
4. 夏休みキャンプ貸し出し料金の適正化（値上げ）
5. 地域住民を対象にした週末日本語学校の開催
6. 結婚式などへのチャペルの貸し出し